

令和6年度学校評価の課題とその改善に向けた具体的な取組等について

1 学校経営

- 生徒理解に努め、課題意識を持って、教育活動を改善し、学校教育力の向上を図る。
- 施設・設備の活用状況をふまえて、教育環境の整備を進め、教育目標の達成につなげる。

2 学習指導

- 一人一台端末の効果的な活用に取り組み、主体的で深い学びに向けた工夫により生徒の学習意欲を引き出す。
- 資格取得や検定受験に興味関心を持たせる指導や進路実現とあわせた指導の工夫により、学習意欲を喚起する。
- 大学や企業と連携し実践的な教育を継続させる。企業訪問、インターンシップ等により生徒の職業観・勤労観の育成に努める。

3 生徒指導

- 生徒の規範意識を向上させるため丁寧で効果的な指導と支援を行う。
- 基本的な生活習慣の確立について、家庭との連携を進め、指導していく。
- いじめの問題は初期段階での対応や組織的な対応を行い、生徒理解とともにアンケート結果や面談の情報から生徒支援・指導・見守りを行う。

4 進路指導

- 生徒との進路面談や保護者等との連携を進めながら早い段階から進路への意識を持たせるとともに、進学指導も一層充実させる。

5 特別活動等

- 体育祭や文化祭などの学校行事では、生徒の意欲を一層引き出すような取り組みを実施する。
- 各種行事について、生徒が自主的、積極的になれるよう生徒会との連携など進め方の工夫と改善に努める。
- 部活動は強化クラブを中心に積極的に活動している。今後は、人間力の育成とともに内容のある成果につなげていきたい。

6 学校図書館

- 読書習慣が身に付くよう図書館の利用を促進する。また、教科で図書館を利用した授業を進めるなど図書館の活用につなげる。
- 「展示ケース」や「新書ポスター」など、図書館へ入りやすく、また借りやすい雰囲気づくりに努める。
- 図書館だよりを定期的に発行し、新書紹介に努める。
- 図書委員の先生方を通して、各教科での授業や学校行事に図書館利用を促進する。

7 保健・安全指導

- 保健室に来室した生徒の状況について、迅速に担任と連携を図る。
- ケガや病気などにも適切に対応できているので、引き続き継続する。
- 生徒自身が健康管理やけが防止についての意識を高めるために、保健だより等を通じて呼びかけを引き続き行う。

8 人権教育

- 部落差別をはじめとするあらゆる差別を許さない人権学習に積極的に取り組んでいる状況を継続する。
- LHRなどでは、生徒間で話し合う場面を多く取り入れるなど人権感覚を高め、自分のこととして考え方行動できる指導に継続して取り組む。
- 様々な悩みを抱える生徒に対して、きめ細かく対応するために、専門家の支援による相談体制を構築するとともに教育相談に対する教員一人一人の意識を高める。

9 環境教育

- 整理整頓の意識により学習環境を向上させ、また清掃活動を通じてごみの分別や環境美化の習慣の指導を強化する。
- 工業の専門科目における実験・実習の安全作業を通して、物を大切にする心や日常の清掃活動やごみの分別などについて意識高揚を図る。
- 専門教科の学習内容と環境問題とを関連づけた授業展開によって生徒の問題意識を向上させる。

10 事務・管理

- 引き続き、計画的に施設・設備の整備を進めるとともに、必要な予算の確保に努める。
- ホームページ、マチコミメール等を併用しながら学校からの文書や連絡、情報等を保護者に届くよう確実な通知に努める。

11 その他学校の取り組み

- シン・マイスター・ハイスクール事業やDXハイスクール事業により、自律的で持続的な未来社会を創生できる産業人財育成のための体制を整える。
- しがクリエイター12プロジェクトの取組により、多様な人と交わりながら、その学びを地域に生かし滋賀の産業を支える職業人の育成を目指す。
- 地域や地元企業等との連携を図り、開かれた学校づくりを推進する。また、小学校出前授業や成果発表会等を通して、地域とともにある学校づくりを行っていく。